

3 さいたま市における 公民連携によるグリーンインフラの取組



さいたま市緑の基本計画

グリーンインフラとは

「グリーンインフラ」とは、自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方です。グリーンインフラは以下のような場面での活用や効果が期待されています。

- ・ 自然環境豊かな都市形成による人材や投資の呼び込み、都市の価値向上
- ・ 豊かな生活空間の形成
- ・ 防災・減災、持続的な土地利用の推進
- ・ 多様な主体の参画を通じた新たなコミュニティやソーシャル・キャピタル*の形成

* ソーシャル・キャピタル：社会や地域コミュニティにおける信頼関係、規範、ネットワークなど人々の結びつきを示す概念

グリーンインフラの取組によって発揮させる「緑の力」

緑が有する多様な機能がもたらす都市への効果を「緑の力」と表現します。本市は、「緑の力」として、特に、“呼び込む・憩う・守る・つなぐ”の4つの要素に着目しました。

呼び込む

人材や民間投資を呼び込む魅力的な都市空間の形成

憩う

ゆとりある環境で健康的に暮らすことのできる生活空間の形成

守る

気候変動に伴う災害の頻発化・激甚化への対応

つなぐ

市民の参画、公民の連携など様々な主体が関わり合う機会の創出



さいたま市緑の基本計画

リーディングプロジェクト

LP1 呼び込む×つなぐ

居心地の良い都市空間形成プロジェクト

目標

緑の多様な機能を生かして、都市の魅力と価値を高める

施策の方向性

- 公民連携による緑を生かした地域の魅力と価値の向上
- 地域産業等を生かした緑に親しむ機会の創出
- 緑を評価する仕組みづくり



LP2 憩う×つなぐ

花や緑との身近なふれあいプロジェクト

目標

花や緑との身近なふれあいを通じた、緑あるライフスタイルの実現

施策の方向性

- パークマネジメントによる地域の魅力を高める公園づくり
- 公共空間等における花と緑のスポットづくり
- 公民による花・緑づくりの連携・ネットワーク化



LP3 守る×つなぐ

持続的な自然との共生プロジェクト

目標

緑と市民の関わりを強め、自然と共生する暮らしを将来に継承する

施策の方向性

- 多様な主体及び技術による持続的な緑地マネジメントの推進
- カーボンニュートラルに貢献する見沼田圃等の保全と活用
- 市民が自然とふれあう機会づくり



公／民の連携によるグリーンインフラ
グリーンインフラ大賞－国土交通大臣賞
「大宮ストリートプランツプロジェクト」

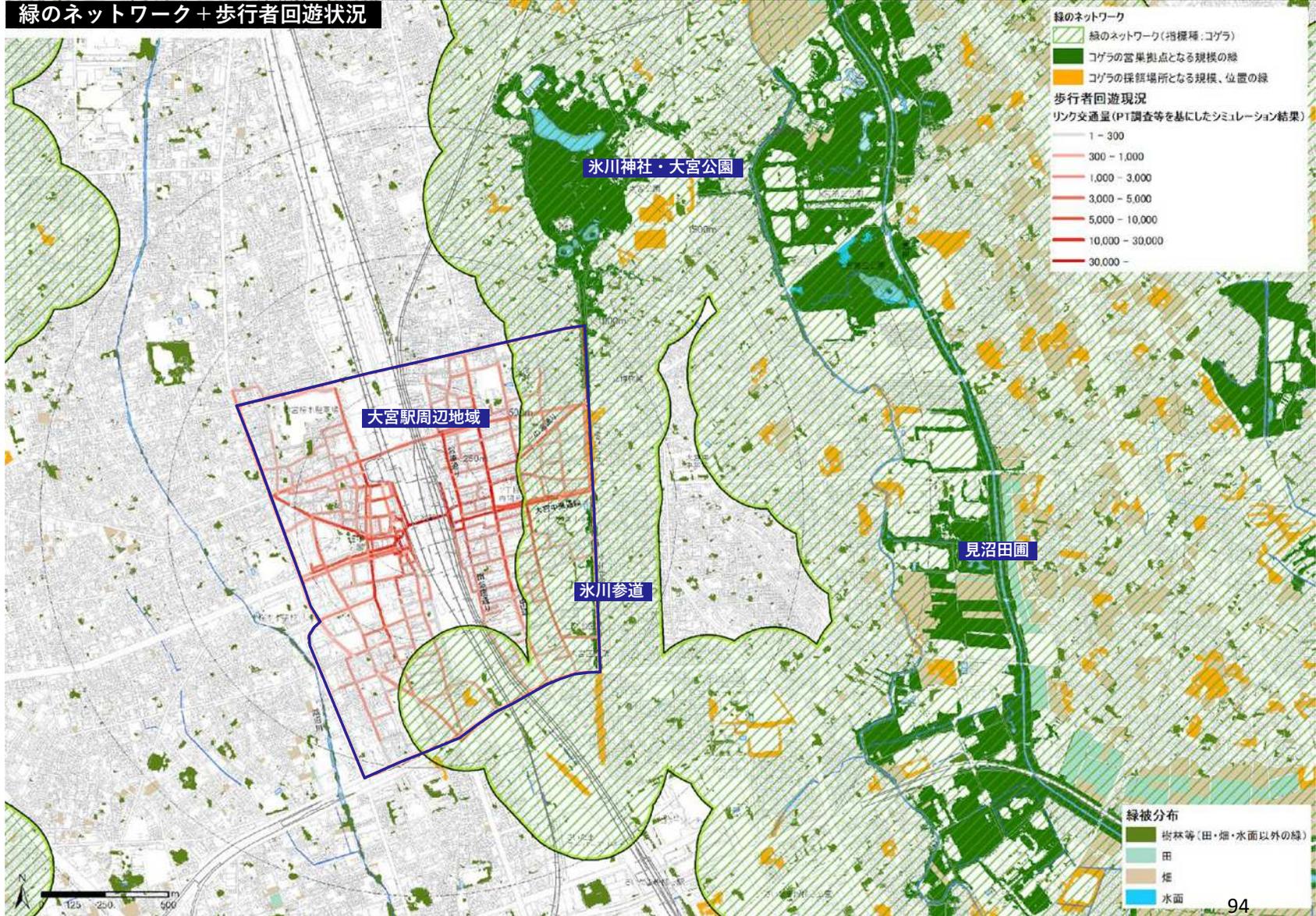
UDCO[アーバンデザインセンター大宮]
WOODSMART
秀花園
さいたま市
中央通り新栄会(プロジェクトパートナー)
芝浦工業大学(調査協力)
UDC078(調査協力)

STREET
PLANTS
PROJECT



OMIYA STREET PLANTS PROJECT
視聴動画

緑のネットワーク + 歩行者回遊状況







STREETPLANTSMARKET



インテリアグリーン
ロアガーデン
[大宮]



多肉植物 装飾園芸
タカボタニカル
[与野]



花の植物
ノブヒロ園芸
[見沼]



植木
秀花園
[見沼・安行]



畑苗の植物
ナカワプロジェクト
見沼・浦和

植栽の維持管理(水遣り等)のご依頼



ストリートプランツの維持管理について

《水やりについて》

〔水量の目安〕

- ・土が乾いたらたっぷり水を与えます。(1～2リットル/鉢程度)

〔季節ごとの目安〕

○春・秋の場合(4～6月、10～12月)

植物の生長は盛んな時期なので十分に与えてください。

- 2～3日に1回程度を目安としてください。
- 水遣りの時間帯はいつでも結構です。

○夏季の場合(7～9月)

気温の高い日中は避けて、涼しい時間に与えてください。

- 1日1回を目安としてください。(特に猛暑の日は1日2回程度)
- 水遣りの時間帯は朝もしくは夕方として下さい。

○冬季の場合(1～3月)

植物の生長はかなり鈍くなります。

- 2週間に1～2回程度を目安としてください。
- 暖かい日の午前中に与えてください。

※夕方に水やりをすると夜中凍ってしまうので、ご注意ください。

※雨が降った場合はこの限りではありませんが、降雨時間が短い場合は水が足りない場合がありますので、その際は改めて水を与えてください。

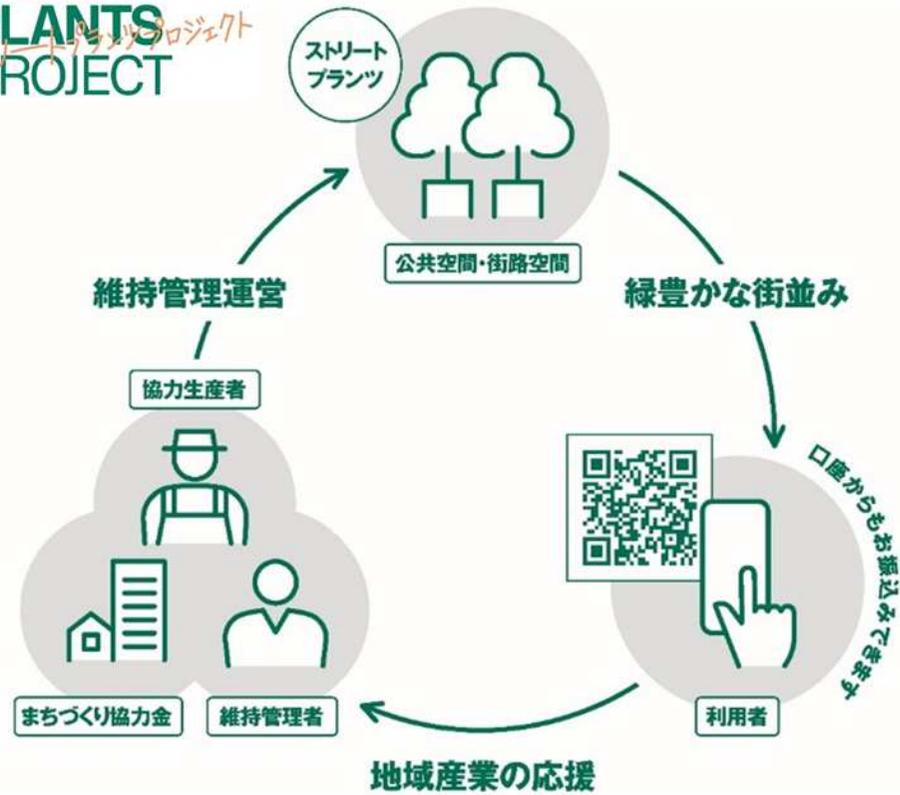
※ユーカリとブルーブッシュに関しては、乾きに弱く水を好む樹種なのでポットからギリギリ水が溢れないぐらいの量を1日1回～2回程度の水遣りをお願いします。

《剪定・清掃について》

- ・プランターから生えてきた雑草は、抜いて対処してください。
- ・枯れた枝があった場合は枝の根元から剪定してください。
- ・葉や小枝等は床に落ちたものに関しては都度、拾って処理してください。

STREET PLANTS PROJECT

ストリートプラントプロジェクト



[協賛/購入によって頂いた資金]

- 協力生産者へ (協力費)
- 維持管理者へ (維持管理費)
- エリアプラットフォームへ (運営費)



大宮駅周辺グリーンインフラ 公民連携プラットフォーム

- 株式会社埼玉りそな銀行
- 株式会社地域デザインラボさいたま
- 株式会社武蔵野銀行
- 公益財団法人さいたま市公園緑地協会
- 一般財団法人さいたま市都市整備公社
- 一般社団法人アーバンデザインセンター大宮[UDCO]
- さいたま市

2022.01.13 GIAP設立

プラットフォーム活動目的

本プラットフォームは、大宮駅周辺に関わる多様な主体が一体となって、グリーンインフラの取組を推進し、都市の価値向上と活性化、豊かな生活空間の形成に寄与することを目的とする。

プラットフォームミッション

- 大宮の豊かなライフスタイルの提案
- 大宮の未来について語る空間の創出
- 先進的な取組、その成果の発信



GREEN INFRASTRUCTURE PLATFORM
GIAPメンバーとストリートプランツプロジェクトパートナーの意見交換





山丸公園

[グリーン+ウォークブルの取組]

● ストリートプランツ

+ キッチンカー出店

※公園緑地協会との
連携により実施

大宮門街前 歩道部

[グリーン+ウォークブルの取組]

● ストリートプランツ

+ キッチンカー出展

● 企業協賛の募集







1 [設置前]



2 +STREET PLANTS [利活用]



3 +STREET DESIGN SCHOOL [イベント利用]



《季節毎の歩行者交通量》

設置後 [秋]

設置後_10/8(秋季)歩行者交通量



《歩行者の滞留行動》

歩行者通行量 : 10,217 人

滞在時間 : 8時間48分20秒

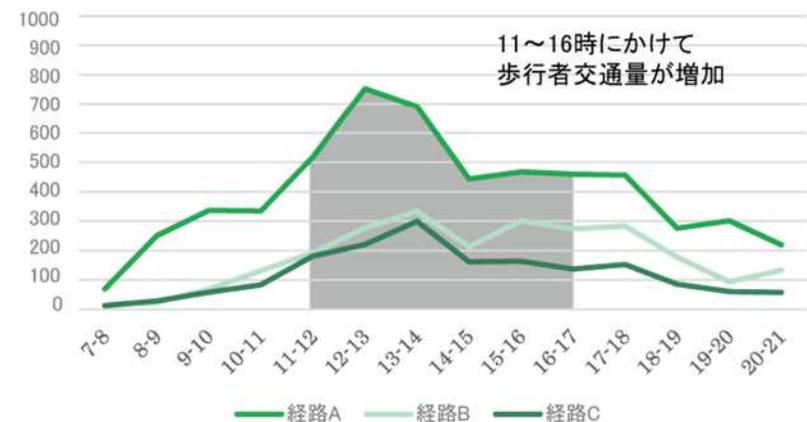


平均滞在時間
: 9分16秒/人

秋季
延滞在時間
約9時間/日

設置後 [冬]

設置後_8/27(夏季)歩行者交通量



歩行者通行量 : 9,774 人

滞在時間 : 4時間43分52秒



平均滞在時間
: 9分9秒/人

効果検証

緑視率調査

〔調査方法〕

- ・歩行者視点の緑の視認性を把握するため、アイレベルの緑視率（定点撮影範囲の面積に対する面角内の植物による緑の面積割合）を把握する
- ・過年度までで未調査の山丸公園において、ストリートプランツを設置した地点の遠景(東向き) / 遠景(西向き) / 近景の3画角を対象として調査を行う
- ・国土交通省が提供する「AI緑視率調査プログラム」を用いて緑視率を算出

アイレベル近景の緑視率の変化



(設置前)

9.77%



(設置後)

22.19%

12.42%UP

〔緑視率調査のまとめ〕

○山丸公園の樹木や氷川参道の緑量が既にある地点であることから、**遠景の緑視率向上は少ない。**一方で、**近景では12%以上緑視率の向上が見受けられた。**

○山丸公園での今回の設置は、ストリートプランツによる緑視率を最大限向上させる一団での配置であり、滞在性を損なわない最大限の緑量を意図している。
→ストリートプランツの広場設置の場合の最大緑視率に近いものと考えられる。106



STREET
PLANTS
PROJECT